

平成 31 年 01 月 23 日  
ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社  
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社

### 第 31 回 ディズニー・チャンネル/ディズニーXD 放送番組審議会議事録

- ・日時 平成 30 年 12 月 10 日(月) 14:40～15:30
- ・場所 東京都港区虎ノ門 1-23-1  
ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社 27 階会議室
- ・出席者 審議委員総数 8 名  
出席審議委員数 8 名

(出席委員名)

- 委員長 山田 顕喜 (日本大学芸術学部映画学科元教授)
- 副委員長 前田 耕作 (生涯教育新聞社代表)
- 委員 阿部 京子 (ナレーター・キャスター・(有)タイムリーオフィス代表)
- 委員 木下 美子 (元青山学院初等部英語教諭)
- 委員 土屋 礼子 (朝日新聞社企画事業本部 本部長補佐)
- 委員 名越 康文 (精神科医・評論家)
- 委員 藤田 興彦 (公益法人児童育成協会理事長)
- 委員 三枝 幹夫 ((株)オリコンME WEB 編集本部 ORICON NEWS 編集部 編集長)

ディズニー・チャンネル

(衛星機関放送事業者：ブロードキャスト・サテライト・ディズニー株式会社)

番組供給事業者：ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

ディズニーXD

(番組供給事業者：ウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社)

アイリーン・ハンベルガー (編成 ディレクター)

藤 慶英 (メディア戦略 シニアマネージャー)

竹内 文吾 (編成 マネージャー)

待鳥 雅之 (編成 アシスタント・マネージャー)

- ・議題 (1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD の番組編成について  
(2) 審議番組「ミラキュラス レディバグとシャノワール」  
「ベイマックス ザ・シリーズ」について

・議事内容

(以下、\* : 委員からの意見・質問、→ : ディズニーの説明・回答)

(1) ディズニー・チャンネル及びディズニーXD の番組編成について

→ディズニー・チャンネルは 10 月から開局 15 周年のキャンペーン中で、ミッキーマウスのスクリーンデビュー90周年などもあり、盛り上げてきた。

→12月はこのキャンペーンのフィナーレとなる月で、「ズートピア」や「ディセンダント」の特別編成などを組んでいる。

→来年1月には「ファインディング・ドリー」の初放送、今回の審議対象の「ミラキュラス レディバグとシャノワール」の特別編成もある。

→ディズニーXD では 12 月にはスター・ウォーズ作品をフィーチャーしており、新しい TV シリーズ「スター・ウォーズ/レジスタンス」を Dlife と同時に公開する。

→今回お見せした「ベイマックス ザ・シリーズ」については、来年1月に特集を組んでおり、これを推している。

\*制作はどここの国だろうか？

→アメリカで制作している。

(2) 審議番組「ミラキュラス レディバグとシャノワール」及び「ベイマックス ザ・シリーズ」について

・「ミラキュラス レディバグとシャノワール」

放送概要：

2018年07月23日(月)に放送開始・レギュラー枠は月～金 16:30～、土日 11:30～等。

約 23 分×26 話 (第 1 シーズン)

番組内容：

ごく普通の高校生、マリネットとアドリアン。だが 2 人は邪悪な影からパリの街を守るスーパーヒーロー。 善良な市民をヴィランへと変える邪悪な生物・アクマをとらえるため、クワミ (妖精) の力でレディバグとシャノワールに大変身。ライバルかつバディとしてともに戦う 2 人だが、その正体は誰も知らない。当の本人さえお互いの正体を知らず、マリネットはアドリアンに、シャノワールはレディバグに、それぞれ片想いをしている。

→このシリーズはフランス・韓国・日本の共同制作。2015 年から各国で放送開始されて、アメリカでは Nickelodeon で放送された。昨年はヨーロッパでも作品ランキングトップ 10 に入り、日本でもすでに多くのファンが存在。

- \*変身ものの作品という印象を受けた。
- \*個人的に興味深い。初見で、日本のアニメや特撮の影響が多分にある・強く受けていると思う。割とアクションが派手で、対象年齢が少し上向けかなと感じた。
- \*レディバグとシャノワールが徹底的に“対極”として描かれているのが面白い。
- \*基本的には子供たちが大好きな変身もの、変身ヒーローものだと思う。面白かった。
- \*日本の変身ヒーローものとは異なる、という印象を持った。「セーラームーン」とかでは自分で戦う。悪役のホークモスは、他人に乗り移って(憑依して)いるので、ちょっと違うかなと。だが、いずれにしても、大切なもの・守りたいものを描いていることは同じだと思う。
- \*シャノワールの武器だが、ただの棒なので、もう少し練ってほしかった。
- \*見た時に既視感があった。制作に東映アニメーションが入っていて、戦隊もの、セーラームーンやキャッツ・アイなどと似ていると思う。ごちゃ混ぜのイメージが強く、定番の変身ものも出てくるが、やや詰めが甘い。映像はすごくきれいだと思う。
- \*子供向けには、日本の少し過激な少女漫画よりも、こういう作品を見せたい。アクション主体でちょっと上向けだったとしても、この作品の内容はとても健全。
- 小さい子供たちのコスプレも多く、幅広い年齢から受けがいい。ディズニー・チャンネルの中で高い視聴率を取っている。
- \*女の子が特にファッションやストーリーに憧れがあるのでは？
- \*世話焼きの親友を頼り切っているわけでもない。素敵だと思う。

#### ・「ベイマックス ザ・シリーズ」

放送概要：

2018年04月21日(土)より放送開始、レギュラー枠は土・日 18:00～など。

各 22分×25話 (第1シーズン)

番組内容：

サンフランソウキョウ工科大学の初登校の日、ヒロは大学で、亡き兄タダシが使っていたラボを見つける。そこには、今はもういないベイマックスのアームが残されていた。グータッチをすると、中からタダシが作ったヘルスケアチップが出てくる。その頃、再びビッグ・ヒーロー6 となって街を悪党から守りたいフレッドが、仲間を説得していた…。

→2014年12月公開の映画「ベイマックス」が基になっているTVシリーズで、劇場版のその後の展開を描いた作品。

- \*すごい人気になった映画の続編として、どういうふうに行くのかなと興味を持った。ファンには嬉しいのではないかなと思ったが、ドタバタが多い。今後、どういうふうになるか期待。

\*映画に出てこない敵が、悪役として登場するようだが。

→オバケが暗躍している。

\*映画はヒットしたし、続編を熱望した人が多かったその後、正統派な続編として見て良いのではないか。3DCG から2D アニメへ移行したが、カット割りも丁寧に作られている。映画では描き切れない部分が当然あると思うので、こういう続編を見たいな、それぞれのキャラクターを見たいな、という思いをかなえてくれるという部分では期待が持てる。人数が集まって得られるカタルシスって気持ちいいなと思って見ていた。今後も継続して見たい。

\*映画本編を見ていなかったのですが、勝手にドラえもんのようなストーリーだと思っていたが、ドライな展開だなと思った。例えば友達の出しゃばり（フレッド）の魅力を活かされておらず、ウザいだけの存在。女の子の登場人物がクールなので。

→フレッドは実はビッグ・ヒーロー・シックスのチーム再結成に一番熱心に動いたメンバー。フレッドのお父さん（モデルは故スタン・リー）もヒーローという設定。

\*ディズニーのアニメーションのシリーズでは「フィニアスとファーブ」を頂点として見ている。それに比べると、若干モタモタしている。あの爽快感はすさまじかったから。

\*アニメ版でチームとしての活躍が見られるのであれば。

\*見た目の違和感があった。ホワホワから硬質。1時間、楽しかった。映画のホワとしたハートウォーミングなイメージが強いが、それとは違う次のシリーズのヒーロー。

\*吹き替えも良かった。ベイマックスの機械的なセリフ回しが印象的。

\*ヤマなんて、彼はもろに日本の暴力団員。テクニカルな 22 世紀みたいな世界観の中で、面白い。今どきの暴力団員を参考にはしたのだろうか。上下ジャージがかえってリアル。

\*映画の続編につながっていくのだろうか？

→具体的には聞いていない。この TV シリーズは、特別編成のなどの際には映画と合わせて放送している。



- ・ 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日：  
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成 30 年 12 月 10 日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で、活用し、さらなる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。
- ・ 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日：  
平成 31 年 1 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上